

各位

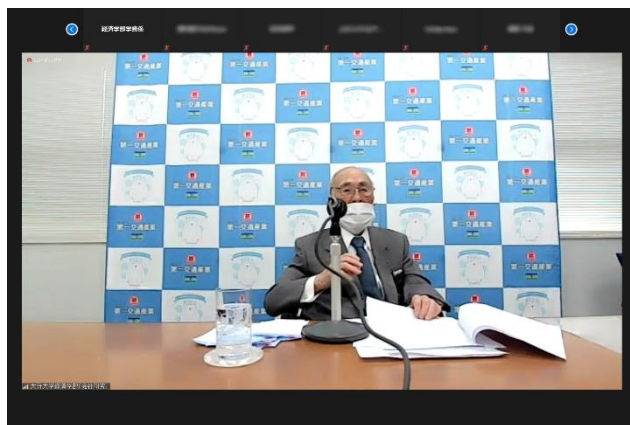
令和3年4月15日
第一交通産業株式会社

【開催報告】大分大学のオンライン講義で当社創業者 黒土会長が講演

昨日(4月14日)、大分大学経済学部創立100周年を記念し、同学経済学部同窓会「四極会(しはすかい)」の御寄附により実施する講義「会社研究」の講師として、大分大学出身(当時大分高等商業学校)の当社代表取締役創業者会長 黒土始(99歳)が招かれ、今回、昨年8月に続き2回目の講義を行いました。

この講義「会社研究」は、大分大学経済学部の学生向けに地場企業のトップが毎回講師を務め、今期最初の講師として同学出身の当社会長 黒土が「経営哲学」をテーマに講演しました。

講義では、お客様本位や社会貢献などについてふれ、90分の講義には約150名の学生及び経済学部の同窓生がオンラインで聴講しました。



後半30分は学生からの質疑に答えました。

(Q:学生)新しい地域の中で新しい需要を見抜く上で大切な事はなんですか。

(A:黒土)地域のことを一番よく知っている現場で働く従業員の声、経済界やお客様の声などニーズをくみ取り、すぐに形にすることです。

(Q:学生)タクシーでおもてなしの心が大切ですが、次世代の交通サービス無人化についてどう思いますか。

(A:黒土)自動運転になっても高齢者の介助や運転の補助など、人の手が必要な場面があります。そこにはおもてなしの心が必要になるのです。技術は進歩していますが、我々は時代に合わせ、人の生活を豊かにするためのサービスを展開していくだけです。

(Q:学生)住宅産業においてヨーロッパを参考にしたとの事ですが、どの国ですか。

(A:黒土)フランスです。委託する設計会社には現地に視察に行ってもらい、デザインに磨きをかけてもらっている。ヨーロッパは住宅デザインも先進国です。日本も外国もそれぞれの良さ悪しがある。みなさんには広く学んでほしい。

(Q:学生)元気の秘訣はなんですか。

(A:黒土)人のために役に立つこと。社会奉仕です。人は生まれながらにして運命がある。ただ運命の半分は変えられると思っています。今の環境が不幸だと思っているのなら、人のせいにして嘆くのでなく、自ら変える努力をしてください。私も努力してきました。人の役に立つことをすると心が豊かになります。皆さんが世の中のために活躍する事を願っています。

以上